

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月30日

【評価実施概要】

事業所番号	4572100784		
法人名	医療法人社団慶城会		
事業所名	グループホーム仰星台北郷		
所在地	宮崎県東臼杵郡美郷町北郷区入下800番地 (電話) 0982-68-6608		
評価機関名	社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会		
所在地	宮崎県宮崎市原町2番22号		
訪問調査日	平成21年9月18日	評価確定日	平成21年10月30日

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

自然環境に恵まれ、四季の移り変わりを目にしながら、敷地内の畑や、頂き物の朝採れの食材を使い、その日の食事をともに作り食している。庭の手入れや畑仕事等にも地域の方々がボランティアにて入る等、まさに地域に根ざしたホームになっている。管理者、職員は質の高いケアを目指しており、利用者に寄り添うケアがされている。利用者はそれぞれに、自分のペースで穏やかに過ごしている。

【重点項目への取組状況】

【情報提供票より】 (平成21年8月26日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成17年3月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	7 人
職員数	7 人	常勤7人, 非常勤0人, 常勤換算7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 造り	
	1階建ての	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	実費 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	250 円	昼食 300 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成21年8月26日現在)

利用者人数	7名	男性 1名	女性 6名
要介護1	1	要介護2	3
要介護3	0	要介護4	3
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 88.8歳	最低 78歳	最高 97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	瀧井病院、美郷町立西郷病院、宮谷歯科、武富ヒフ科
---------	--------------------------

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	居室への配慮は、家族の写真やなじみ物が持ち込まれ、居心地の良い空間となっている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	全職員それぞれが自己評価に取り組み、それを持ち寄り話し合いながら全体の評価に結びつけ、新たな気づきとなった。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	ホームの現状報告、外部評価(自己評価)への取り組みと結果報告などが細やかに討議され、そこでの意見をサービス向上に生かしている。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホーム便りと利用料請求の際、個人あてのメッセージをつけ日々の様子を知らせている。来訪時等、機会あるごとに意見を聴くようにしており、出された等は記録に残し、早急に対応している。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ホーム前の運動広場で行われる地域全体の運動会へ参加をしたり、地区の祭りではホームの駐車場を提供する等、地域との連携を図っている。また、近隣から食材購入することで、野菜等を頂いたり、中庭や畑の手入れにボランティアで入っていただく等の交流もある。

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念の共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業所と地域との触れ合い、家族との密着を考えた理念作りがされており、ともに支え合い笑顔で寄り添うことをイメージし、分かりやすく文書化している。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を共有し、当たり前のこととして、個々に合わせたケアを心掛けている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区行事への参加、ホームの開放、近隣からの食材購入等、常に地域とのつきあいを意識している。最近では地域の方がボランティアで中庭の手入れ等をされたり、野菜等季節の物を頂くことも多い。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員で自己評価を行い、それを持ち寄って話し合いをしている。評価の意義を理解し、気づき等の評価を生かし具体的なケアの向上に結びつけている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、ホームの現状や評価の取り組みについて報告し話し合い、そこでの意見をサービスの向上に生かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地区のケア会議に出席し情報交換をしている。社会福祉協議会の依頼で老人福祉会館にて、自宅で介護されている家族の方へ認知症について話をし、悩みや対応についてともに話し、学ぶ機会を得た。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホーム便りや、請求書送付の際、個々へのメッセージをつけている。また、来訪時や電話にて健康状態等の報告や、金銭管理、職員移動等も定期的及び個々にあわせた報告をしている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	公的窓口を文書にて明示し、意見、苦情等は運営推進会議の中で気軽に言ってもらえるようにしている。出された意見、苦情等は記録し、すぐに話し合いを持ち対応している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動、離職は最小限に抑える努力をしているが、代わる場合は利用者、家族に報告し、紹介しながら引継ぎ期間を設け、ダメージを防ぐ配慮をしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修への参加は段階に応じて計画し、勤務体制にも配慮している。資格取得のための関連施設合同の勉強会も実施している。また、研修の結果報告を毎月のケア会議にて行っている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	関連事業者と管理者会を2か月に1回開催し意見交換を行い、サービスの向上を目指している。それを持ち帰り職員へ伝え共有している。また、他のホームの行事等へ参加している。		
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	こちらから出向いて本人と話をしたり、家族の来訪にてホームの雰囲気を見てもらったり、ケアマネジャーからの情報を受けながら少しずつホームに慣れてもらえるよう相談しながら工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活歴の中で自然と身につけている動作、例えば水を大事に扱い食器を洗う等、見習うことも多く、利用者の言葉に支えられ、ともに笑ったり泣いたり支えあう関係を築いている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々のかかわりの中で、言葉、表情、行動からその真意を推し量っており、それを家族に伝え情報を得ながら本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族からの意向を来訪時や電話にて伺い、全員で話し合いながら利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じて見直しをしている。月に1回のケア会議で情報収集に努め、変化が生じた場合は家族、主治医と相談しながら新たな計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助をホームにて対応している。ドライブ、墓参り、理美容などの外出支援をする等、多機能性を生かし柔軟な支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望するかかりつけ医となっており、それぞれに適切な医療を受けられるように支援している。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	段階を追いながら、家族、かかりつけ医と話し、全員で方針を共有している。希望があれば看取りをする方針で話し合いを重ねている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	さりげないケアがなされ、言葉掛けもプライバシーに配慮されたものである。記録等の個人情報の取り扱いもきちんと管理されている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れはあるが、一人ひとりの体調に配慮しながら、散歩、買物、ドライブ等、本人本位に個別性のある支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者、職員で準備から片づけまで、できることをそれぞれにしている。食事も和やかに会話をしながら、介助もさりげなくされている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的な入浴時間はあるが、その時々で時間をずらしたり、仲の良い人は一緒に入ったり、足浴だけにしたりと、希望やタイミングに合わせた入浴支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	編み物や、洗濯物たたみ、食器洗い、農作業等、それぞれに生活歴を生かした役割（仕事）がある。お願いと感謝の言葉を伝えながら支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	帰宅願望や、落ち着かれない方の場合、散歩やドライブに出かけたり、中にはご家族の入所されている所まで出かける等、戸外に出る支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は鍵を掛けないようにしている。一緒に出かける等、精神安定に努める取り組みをしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、利用者とともに消防団の方々の協力を得て、昼夜想定での避難、消火、通報訓練を行っている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取状況を毎日チェック・記録しており、個々に応じ食事形態を変更したり、トロミ調整している。また、食事量、水分量が少ない時は、本人の好物を提供する等の支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然の光、風を感じる造りで、心和らぐ空間である。季節の花々がさりげなく飾られ、居心地良く過ごせるように工夫された配慮がうかがえる。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	持ち込みの写真や、壁にはお気に入りの服が掛けられ、一輪挿しには庭先の野の花がさりげなく飾られる等、居心地良く過ごせる居室の工夫がある。		

※  は、重点項目。